

日本の農業を

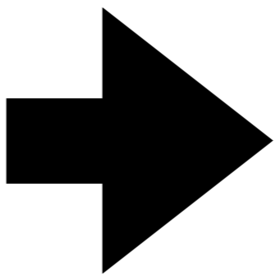
かっこよく魅せたい

現状の課題点

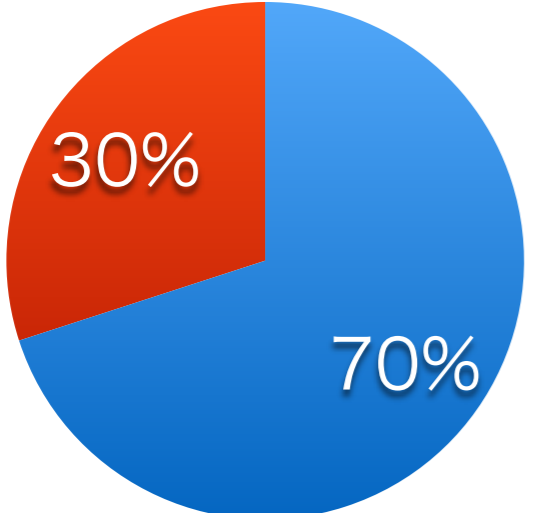
①日本の農家のほとんどが世界基準ではない。

国内の農家の安全基準(GAP)の取得率

10% 未満



2020年
オリンピックパラリンピックで
日本の食材をPRできない。



農業最先端のEU内では、
流通する農産物の約70%はGAPを取得。

- ① 農業の後継者がいない
- ② 海外の農作物の収穫量の増加
- ③ 日本の農作物のブランディング不足
- ④ 農作物の国内自給率の低下
- ⑤ 日本のGDPの伸び悩み

政策

Cool Agriculture

クールアグリ

安全でおいしく質の高い商品

+

生産者のストーリー

||

日本の農業はかっこいい

農林水産省

GAP 広報

- オリンピックの活用
- 広報及び
ガイドラインの配布

経済産業省

クールジャパン 政策

- 現地で稼ぐための
プラットフォーム作り
- 六次産業化による
継続的なビジネス

財務省

関税



具体的PR

TKG

T たまご K かけ G ごはん



T たまご K かけ G ごはん

卵

輸出金額：9億1300万円

+

醤油

輸出金額：66億1300万円

+

米

輸出金額：10億7000万円

T_{たまご} K_{かけ} G_{ごはん} の市場規模

約1750億円

日本の農業を

かっこよく魅せたい